

1号議案

2025年度事業報告

【全体活動報告】

協会としては、例年の活動の他に記念行事や初めての学会開催や定款の見直しに取り組み、これまでの活動を振り返り、今と未来の目指すべきあり方を考える1年だった。

前年度に立ち上げた実行委員会が企画、準備をして3年遅れで60周年記念事業として8月に「設立60周年記念大会 テーマ医療ソーシャルワーカーの歩みを…未来へ」を開催した。記念式典には日本医療ソーシャルワーカー協会会長他6名の来賓、記念講演では北見市医療・介護連携支援センターセンター長関建久氏による「ソーシャルワーカーは生き残れるか？－未来は私たちの選択である－」、歴代会長によるシンポジウム、社会保障ゲーム体験、夜間には祝賀会を開催した。多くの会員と共に盛会の中、これまでの協会の歩みを振り返り、今後の医療ソーシャルワーカーのあり方を会員や関係者の方と共に考え、協会として新たな進化を目指す機会となった。

また、記念大会とともに「第1回群馬県医療ソーシャルワーク学会」を開催した。研修委員会を中心メンバーに準備し現場での実践や専門職団体としての活動での取り組み、研究を8演題発表いただいた。ソーシャルワーカー同士が刺激を受け学び成長できる貴重な場となった。

例年と同様に、対外活動として自民党政調懇談会・公明党意見交換会への要望と意見提出リレーフォーライフ、各種会議等へ委員としての参加、研修への講師協力など継続して行った。

社会福祉士会と精神保健福祉士会との群馬県ソーシャルワーカー連盟としては、ソーシャルワーカーデーと他に初めての研修会をソーシャルワーカーとして共通である「倫理研修会」を開催した。

法人化後5年経過、定款の確認を行う中で総会通知と議案書の送付方法についての改訂が必要となり、臨時総会をズームにより開催し電磁的投票と総会参加により賛成多数をいただいた。

理事会にて、正会員の条件として倫理綱領をもち業務指針にも関わる日本協会への入会は継続する方針を確認したうえで、入会や会員の継続しやすい条件、入会時の管理について協議検討したうえでパブリックコメント募集と説明会開催し本日の第6号議案の提案へといたった。理事会は上記の定款見直しに関連して例年より1回多く7回(4,5,7,9,11,1,3月)に開催した。

【代表事務局】

事務局業務は情報管理と会員管理を主に行ってきた。

情報管理は協会内外の情報共有・発信、対外的な連携業務等をその都度会長・理事会と協議しながら行ってきた。

会員管理は法人設立時から長年ご尽力いただいた中粉さんが 2025 年度総会后に勇退され、新たに賛助会員の野代綾乃さんに就任していただき会員管理に務めている。

今年度の会員申請の動きは以下の通りである。

2025 年度 入会 26 名

退会 32 名

変更 28 名

休会 3 名

年度末（3 月 31 日現在）の会員数は 279 名（正会員 254 名 準会員 3 名 賛助会員 22 名）である。

【研 修】

1. 学生向け研修

昨年度より、これまでのアンケート結果を集約し“受講生を増やす工夫”について検討し取り組んでいる。

第 10 回の開催となる今年度は、昨年に引き続き「参加募集の枠組みを増やす(午前・午後・1 日)」「病院を会場に開催(病院見学を実施)」、プログラムにおいては「複数分野からの実践報告(今年度は急性期・ケアミックス・小児・災害・外国人)」「他養成校の学生との交流」を取り入れた。毎年、好評である「面接技術」の講義、「現任 SW へのインタビュー」も継続とし、インタビューには経験年数 3~10 年の現任 SW(6 名)から学生からの率直な疑問にお答えいただいた。

受講者は、群馬県内の社会福祉士養成校 3 大学の他、県外大学からの参加もあり午前 37 名 / 午後 39 名(1 年生 9 名、2 年生 7 名、3 年生 14 名、4 年生 11 名)であった。

終了後アンケートの回答は 19 名(回収率 46%)。研修前後での“医療ソーシャルワーカーの就職意向の変化”を尋ねる質問では、「就職意欲が向上した者」14 名(73%)、「就職意向に変動がない者」4 名(21%)、「就職意向が低下した者」1 名(5%)であった。就職意欲が低下した理由は未記載であり不明であるが、全体として本研修が MSW としての就職意欲の向上に一定の効果があると思われた。受講歴をみると複数回参加している学生も多数おり、中には「4 回目」の学生もいた。今年度から開始した Peatix を使用した参加費(資料代として 500 円)の徴収を行ったが大きな影響はなく次年度も継続する予定である。

今後も未来の SW 育成の一助として、より良い研修の開催を目指したい。

日時：2025 年 6 月 15 日(日)9:30～17:00

場所：高崎総合医療センター 別館 1 階講堂

内容		講師	
MSW 支援の実際	急性期病院	高崎総合医療センター	高橋紀貴氏
	ケアミックス	イムス太田中央総合病院	野口愛美氏
	小児	伊勢崎市民病院 (子ども家庭支援委員会)	星野妙美氏
	災害	高崎総合医療センター (災害支援対策委員会)	山田拓哉氏
	外国人	太田・鳥之郷地域包括支援センター	木村晋也氏
先輩 SW が伝えたい面接技術	前橋赤十字病院	友常絢香氏	
現任 MSW インタビュー		群馬リハビリテーション病院	飯塚佑輔氏
		群馬大学医学部附属病院	神原未唯氏
		恵愛堂病院	福田萌々花氏
		伊勢崎市民病院	今井太揮氏
		堀江病院	多賀谷優氏
学生間交流	研修担当		
病院見学			

2. 新人研修 (1～2 年目)

保健福祉医療分野に勤務する 1～2 年目の医療ソーシャルワーカーを対象に、年間計 5 回に分け、全 18 講義の研修を開催した。参加者は 14 名となった。研修形態は感染対策を実施しつつ集合形式にて開催した。座学において学んだことを、個人ワーク・グループワークを通してアウトプットすることで、知識や技術の定着と受講者同士の横のつながりを生むことのできる研修になったと考える。当協会の新人研修は全日程の参加により、日本医療ソーシャルワーカー協会の「認定医療ソーシャルワーカー認定ポイント (37P)」の対象となり、参加申込者のうち 9 名が全日程を修了した。

例年実施している「受講生アンケート」では、「医療ソーシャルワーカーとして必要となる知識について学ぶことができた」「前向きに取り組む力につながった。」「同じ経験年数だからこそ共感でき、話せることもあった。」などの感想が見られ、満足度の高い研修となったと推測される。

第1回：2025年7月21日（月）

講義	講師
医療ソーシャルワーカーの倫理・価値・役割	老年病研究所附属病院 狩野 寛子 氏
病院組織と医療ソーシャルワーカー	高崎総合医療センター 須藤 正子 氏
面接技術	前橋協立病院 森村 規子 氏

第2回：2025年8月23日（土）

講義	講師
診療報酬とソーシャルワーク	原町赤十字病院 金子 美智 氏
アセスメント	済生会前橋病院 眞塩 知佳 氏
記録と報告	鶴谷病院 福島 健太 氏
スーパービジョン	高崎総合医療センター 大川 友子 氏
ピアカフェ（テーマ：入職半年を迎えて）	スーパービジョン委員会

第3回：2025年10月4日（土）

講義	講師
多文化ソーシャルワーク	太田・鳥之郷地域包括支援センター 木村 晋也 氏
実践理論とアプローチ	帝京科学大学 中里 哲也 氏
多職種連携	群馬リハビリテーション病院 関 美姫 氏
災害ソーシャルワーク	高崎総合医療センター 山田 拓哉 氏
精神医療ソーシャルワーク	群馬県精神保健福祉士会 加藤木 啓充 氏

第4回：2025年11月1日（土）

講義	講師
医療における社会保障制度・政策	群馬リハビリテーション病院 小川 晋平 氏
医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識	かもめ在宅診療所 宮澤 智久 氏
生活機能障害とソーシャルワーク	前橋赤十字病院 碓井 祐太郎 氏
「患者・家族」へのソーシャルワークと虐待対応	前橋赤十字病院 中井 正江 氏

第5回：2025年12月4日（日）

講義	講師
事例検討	群馬大学医学部附属病院 青木 優一 氏
ソーシャルワーク・リサーチ	太田記念病院 原 一正 氏

3. 全体研修

日 時：2026年2月22日（日）13：10～15：10

会 場：群馬県社会福祉総合センターB01 会議室

内 容：医療福祉現場におけるAI活用とその展望～我々はAIにとって替わられるか～

講 師：前橋赤十字病院 情報システム課長 市根井 栄治 氏

参加者：34名

2026年2月22日(日)前橋赤十字病院情報システム課長・市根井栄治氏を講師に迎え、「医療福祉現場におけるAI活用とその展望～MSWはAIにとって替わられるか～」というテーマで第2回全体研修を開催し、参加者は34名であった。

13:00 開始予定であったが、会場の駐車場状況等を考慮し、10分開始時間を遅らせて受講者全員が開始から受講できるよう配慮を行った。

生成AIに関して、歴史・理解・仕組みとリスク・活用(共存)等を教授いただき、グループワークを交え、グループで意見交換することで各々のAIに関する認識や活用について理解を深めた内容であった。

アンケート結果(回収率100%)より、研修内容の期待との一致では、全員が「一致していた」または「概ね一致していた」と回答し、理解度においても97%が「実践に活かせる」または「理解できた」と回答しており、充実した研修であったと考えている。

また、実務経験3年未満の方～20年以上の方まで、幅広く受講していただき、意義のある全体研修であった。一方で、受講者数は課題であると認識しており、次年度、受講者数の増加を図りたい。

4. グループ活動サポート事業

今年度は下記、4グループの活動が行われた。詳細は別添の報告書を参照のこと。

1. テーマ：群馬県の血液疾患診療の充実のために私たちにできること
代表者：三井 紀享（渋川医療センター）
2. テーマ：ソーシャルワーク面接技術に関する研修会
代表者：青木 望瑞季（前橋赤十字病院）
3. テーマ：グリーンサポート
代表者：村井雅子（高崎総合医療センター）
4. テーマ：透析があっても安心できる社会に。MSWとしてできること。
代表者：中島 涼太（SUBARU 健康保険組合 太田記念病院）

資料1（グループサポート活動報告書4題）（別添）

【広 報】

1. 発行物関係

・ぬくもり群馬・・・2025年11月（秋号）・2026年3月（春号）

2. ホームページ関係

・研修案内、会議報告、広報誌等のアップロード及び内容の更新

（一般ページ21回、会員ページ33回）＊2025年4月1日～2026年3月31日

・SNS

（Facebookのアップロード33回）＊2025年4月1日～2026年3月31日

（Instagramのアップロード25回）＊2025年4月1日～2026年3月31日

3. メーリングリスト関係 ＊2026年3月31日現在

・新規変更登録等の管理運営（入会： 67件 退会： 65件）

・メーリングリスト登録者数（登録者：278名 284アドレス）

※ブロック別

中毛：67名・67アドレス

西毛：51名・52アドレス

東毛：107名・109アドレス

北毛：49名・49アドレス

県外：3名・4アドレス

(管理者アドレス含まず) *2025年4月1日～2026年3月31日

4. その他

定例活動として、「ぬくもり群馬」を年2回発行、ホームページやSNSの管理・随時更新やメーリングリストの登録を実施した。

試験的に運用していたInstagramのアカウントを正式運用とし公開した。

ブロック活動

【東毛ブロック】(ブロック長：小川琢人 副ブロック長：津田至)

○第1回東毛ブロック会

日時：2025年7月10日(木) 19:00～20:00

場所：慶友整形外科病院

内容：基礎から学ぶ障害年金

講師：ミライズ障害年金相談センター 黒川博明氏、北風さゆり氏

参加：37名

○第2回東毛ブロック会

日時：2025年8月22日(金) 19:00～21:00

場所：くいどころバー玄(太田店)

内容：親睦会

参加：19名

○第3回東毛ブロック会

日時：2025年11月27日(木) 19:00～20:00

場所：オンライン(Zoom)

内容：認知症患者のケアにおける意思決定支援について ソーシャルワーカーと協働
できること

講師：恵愛堂病院 認知症ケア認定看護師 高橋みゆき氏

参加：27名

○第4回東毛ブロック会

日 時：2026年3月12日（木）19：00～20：00

場 所：オンライン（Zoom）

内 容：心をすり減らさないクレーム対応～臨床心理士が伝える、「共感」と「境界」について～

講 師：社会医療法人 鶴谷会 臨床心理士 八重樫祐章 氏

参 加：25名

【中毛ブロック】（ブロック長：森村規子 副ブロック長：碓井祐太郎）

中毛ブロックは昨年度より、ブロック長・担当理事任期に合わせて2年計画で活動計画を立案。ブロックとしての活動テーマは定めず、隔月で担当幹事病院を決め、それぞれが研修会等を企画。今年度は5回の開催で、2年計画の研修10回を終えることができました。各企画への研修参加率は昨年度同様、約4割であった。

○第1回ブロック会（担当 ブロック新人企画）

内 容：第37回社会福祉士国家試験を解いてみよう

講 師：なし

日 時：2025年6月19日（木曜日）18時30分～19時45分

場 所：済生会前橋病院 C棟3階医局会議室

参 加：14名

○第2回ブロック会（担当 前橋赤十字病院Aグループ）

内 容：せん妄について

講 師：櫻沢 早人子先生（前橋赤十字病院 精神看護専門看護師）

日 時：2025年8月25日（月曜日）18時00分～19時00分

場 所：Zoom オンライン

参 加：42名

○第3回ブロック会（担当 善衆会病院）

内 容：現場あるある×倫理綱領～気軽に語ろう～

講 師：ファシリテーター 善衆会病院の皆さま

日 時：2025年10月23日（木曜日）18時30分～20時00分

場 所：善衆会病院 2階大講堂

参 加：25名

○第4回ブロック会（担当 老年病研究所附属病院）

内容：障害年金について

講師：社会保険労務士事務所 社労企画 特定社会保険労務士 塚越 良也 先生

日時：2025年12月18日（木曜日）18時30分～20時00分

場所：群馬県社会福祉総合センター203B

参加：30名

○第5回ブロック会（担当 前橋協立病院）

内容：在宅療養支援診療所における医療連携の重要性

講師：群馬中央医療生活協同組合 桐生協立診療所 看護師 高橋秀彰先生

日時：2026年2月6日（金曜日）

場所：前橋協立病院 生協会館2階 組合員ホール

参加：23名

【西毛ブロック】（ブロック長：高林亜希子 副ブロック長：高橋紀貴）

○第1回ブロック会

日時：2025年6月27日（金）18：00～19：00

方法：オンライン（Zoom）

内容：自己紹介、今年度の活動について 等

参加者：11名

○第2回ブロック会

日時：2025年11月21日（金）19：00～21：00

会場：高崎総合医療センター別館1階講堂

内容：「身寄りのない患者支援—日常生活自立支援事業から身元保証や死後事務を考える」

高崎市社会福祉協議会 伊藤岳央氏、金井栞夕氏

参加者：26名（北毛ブロック1名、中毛ブロック2名、東毛ブロック2名を含む）

○第3回ブロック会

日時：2026年2月3日（火）18：30～19：45

方法：オンライン（Zoom）

内 容：「在宅医療分野のソーシャルワーク～役割が曖昧な現場で SW は何をしているのか～」

かもめ在宅診療所 連携室長 ソーシャルワーカー 堀込真弓氏

参加者：29名(北毛3名、中毛3名、東毛7名、県外会員1名を含む)

○第4回ブロック会

日 時：2026年3月27日(金) 19:00～21:00

会 場：はましょく高崎西口店

内 容：懇親会～医療ソーシャルワーカーの実践知を分かち合う～

参加者：5名

○まとめ

2025年度は全4回のブロック会を開催した。会員が関心をもつテーマを参考にブロック長と副ブロック長(ブロック理事)が企画・運営を行った。テーマによっては他ブロック会員の参加が多くみられる回があった。次年度も引き続き会員の意見をうかがい実施していきたい。

【北毛ブロック】(ブロック長：金子美智 副ブロック長：関口奈津希)

○第1回ブロック会

日 時：2025年11月26日(水) 18:00～19:00

方 法：オンライン (Zoom)

内 容：アンケートの情報共有及び近況報告、来年度について

参加者：9名

○第2回ブロック会

日 時：2026年1月28日(水) 18:00～19:20

方 法：オンライン (Zoom)

内 容：災害時の保健活動について

講 師：渋川市保健福祉事務所 保健師 樋下田真央 氏

吾妻保健福祉事務所 保健師 高橋理恵 氏

参加者：9名(うち他ブロック1名)

○まとめ

今年度も2回開催のみとなり、各回参加者は1桁台であったが、ブロック会員に向けて、面会体制・入院中のアメニティに関するアンケートを行い、結果を協会内で共有することができた点は良かった。

委員会活動

【研修企画委員会】

委員長：碓井 祐太郎

副委員長：手島 慧

委員：山浦 美和子・加藤 大輔・小川 晋平・丹羽 峻太・齊藤 聖香・木村 晋也

委員会開催11回（日程は下記の通り）実施した。活動は研修企画立案・運営（学生向け研修1回、新人研修5回、全体研修1回、第1回群馬県ソーシャルワーク学会の運営支援）、ぬくもり群馬への寄稿を行った。新人研修においては、昨年度改定された新シラバスに準じた初めての年度となった。実際に運用したところ、講師より改善提案をいただいた項もあり、引き続きより良い研修シラバスとなるよう改訂を続けて行きたい。また、今年度、60周年記念事業と同時に開催された第1回群馬県医療ソーシャルワーク学会、群馬県ソーシャルワーク連盟主催研修への運営協力を行なった。

○委員会開催

- 2025年4月17日 第1回（第13回）研修企画委員会
- 2025年5月15日 第2回 研修企画委員会
- 2025年6月19日 第3回 研修企画委員会
- 2025年7月17日 第4回 研修企画委員会
- 2025年8月21日 第5回 研修企画委員会
- 2025年9月18日 第6回 研修企画委員会
- 2025年11月20日 第7回 研修企画委員会
- 2025年12月18日 第8回 研修企画委員会
- 2026年1月5日 第9回 研修企画委員会
- 2026年2月19日 第10回 研修企画委員会
- 2026年3月19日 第11回 研修企画委員会

【広報委員会】

委員長：原島歩志（中毛・老年病研究所附属病院）
副委員長：長野明日香（西毛・高崎総合医療センター）
委員：小淵匡（北毛・広報担当理事・沼田病院）
星野裕一（東毛・広報担当理事・鶴谷病院）
長峰雅史（中毛・前橋赤十字病院）
小川貴之（東毛・在宅医療介護連携センターきりゅう）
麻下未帆（西毛・希望館病院）
渡邊凌佳（中毛・前橋赤十字病院）

○委員会開催

第1回広報委員会 2025年6月23日（月）19:00～Zoom
第2回広報委員会 2025年10月29日（水）19:00～前橋赤十字病院（ぬくもり群馬発送）
第3回広報委員会 2025年11月29日（金）19:00～
第4回広報委員会 2026年3月24日（火）19:00～前橋赤十字病院（ぬくもり群馬発送）

【人権擁護・身元保証検討委員会】

委員長：青木雅代 副委員長：高橋紀貴
委員：青木優一・池田莉緒・狩野寛子・川島恭二・工藤沙綾・富岡真理子・中島涼太
西木春奈・眞塩知佳

○委員会開催（オンライン開催、メーリング）

第1回 2025年6月24日（火） 19:00～20:05
第2回 2025年7月22日（火） 19:00～20:45
第3回 2025年9月22日（月） 19:00～20:40
第4回 2025年11月4日（火） 19:00～20:40
第5回 2025年12月16日（火） 20:00～20:30
第6回 2026年1月21日（水） 19:00～20:50
第7回 2026年3月1日（日） メーリング

○調査研究委員会との身元保証社会調査

担当者が合同会議に参加し委員会で進捗状況を共有

○実践報告

- 第2回 高崎総合医療センター 工藤沙綾
- 第3回 前橋赤十字病院 西木春奈
- 第6回 済生会前橋病院 眞塩知佳

○研修会

日 時：2025年12月16日（火）19：00～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：「後見制度からみた権利擁護の課題～支援者の支援から連携を考える～」

講師 一般社団法人 街の相談室 アンクル 河村俊一氏

参加数：53名（委員を含む）

年7回の委員会を開催した。「身元保証社会調査」は、調査研究委員会と協働し準備を進めた。実践報告は、新規参加の委員を中心に3回実施した。

また、協会員向けのオンライン研修会を開催し、昨年度に引き続き今回も多くの方に参加いただき学びを深める機会となった。社会保障制度に関する人権問題の共有に関して、実践報告や各委員から実践の中で遭遇した問題の話題提供をもとにディスカッションを行った。

【スーパービジョン委員会】

委員長：篠原純史 副委員長：津田至

委 員：木村晋也・高橋博明・佐藤拓海・大川友子・池田瑞保・篠田有希・金子雅仁

○委員会開催

第1回 2025年6月23日（月）19：00～19：45 オンライン（Zoom）

第2回 2025年9月10日（水）18：00～19：00 オンライン（Zoom）

第3回 2025年12月22日（月）19：00～20：00 オンライン（Zoom）

○スーパーバイザー研修（ピアカフェ）

第1回 日 時：2025年08月23日（土）新人研修内にて

場 所： 前橋赤十字病院

参加者：13名

第2回 日 時：2025年11月29日（土）13：30～16：30

場 所： 済生会前橋病院

参加者：10名

第3回 日 時：2026年02月21日（土）13：30～16：00

場 所：太田記念病院

参加者：10名

○スーパーバイザーミーティング

日 時：2026年02月07日（土）14：00～17：00

場 所：高崎総合医療センター

内 容：ストレスマネジメント

参加者：17名

○スーパービジョン全体研修

日 時：2026年03月17日（火）18：30～20：30

場 所：オンライン（Zoom）

内 容：日常業務におけるSVの中で、スーパーバイザーとして何を大切にしている、またスーパーバイザーの立場としてどのようなことを大切にしているか
実践発表

- ・「気づきの種をまくスーパービジョン」風穴恵美子 氏（慶友整形外科病院）
- ・「スーパービジョンへの取り組み」大槻知穂 氏（堀江病院）
- ・「私とスーパービジョン」碓井祐太郎 氏（前橋赤十字病院）
- ・「当院ソーシャルワーカー部門における人材育成の取り組みと教育体制について」椎名絵梨奈 氏（高崎総合医療センター）

参加者：32名

【災害支援対策委員会】

委員長：吉井郁美 副委員長：金子雅仁

委 員：小淵匡・青木優一・山田拓哉・江川七奈子・玉田明日香

平時からの減災・防災の取り組みとして情報発信や大規模災害時における体制整備、他団体との連携強化及び、大規模災害時の被災者支援に関する知識・技術を学ぶための研修を実施した。

○委員会開催回数：6回全てオンライン（Zoom）

第1回 2025年6月4日（水） 第2回 2025年7月22日（火）

第3回 2025年8月26日（火） 第4回 2025年10月16日（木）

第 5 回 2026 年 1 月 26 日（月） 第 6 回 2026 年 3 月 19 日（火）

○災害支援研修の実施

群馬県社会福祉士会、群馬県精神保健福祉士会との共催で「生活再建に活用できる法制度と士業連携の今後の展望」をテーマに実施した。

日 時：2025 年 12 月 6 日（土）15：00 ～ 16：30

会 場：アクエル前橋 会議室 B

講 師：舘山法律事務所代表弁護士 舘山史明氏

参加者：35 名（会員 18 名・社会福祉士会 11 名、精神保健福祉士会 6 名）

○大規模災害時の緊急連絡体制の運用

(1)LINE オープンチャットによる災害時緊急連絡体制の運用を開始し、2026 年 3 月 31 日現在で 116 名/41%（東毛 44 名、中毛 29 名、西毛 19 名、北毛 24 名）が登録している。以下の訓練を実施した。

日 時：2025 年 9 月 8 日（月）～ 9 月 15 日（月）

内 容：1 回目はグーグルフォームより安否・被災状況を入力

2 回目は被災状況を確認するための写真送信

参加者：1 回目 66 名（東毛 22 名、中毛 16 名、西毛 11 名、北毛 17 名）

2 回目 66 名（東毛 27 名、中毛 8 名、西毛 14 名、北毛 17 名）

(2)災害時緊急連絡体制に関する規程を全会員対象に改訂した。

○県内の社会福祉専門職団体等との連携強化

(1)群馬県腎臓病患者連絡協議会からの講師派遣依頼

日 時：2025 年 7 月 13 日（日）

会 場：群馬県社会福祉総合センター 203A 会議室

内 容：災害への備えについて講義

派 遣：当委員会 1 名

(2)3 団体連盟担当者会議については共催研修開催前の打ち合わせと研修終了時に意見交換の場を設けた。

日 時：2025 年 11 月 6 日（木）19:30 ～ 21:00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：研修開催の打ち合わせ

参加者：当委員会 5 名、社会福祉士会 2 名、精神保健福祉士会 4 名

○災害時における被災者等相談に関する協定に係る研修会

日 時：2025年9月4日（木）17：00～19：00

会 場：群馬弁護士会館

内 容：災害対応における多士業連携に関する研修「多士業連携・他職種連携と災害ケースマネジメント」

参加者：当委員会2名

○群馬県災害派遣福祉チーム員の選出

7期生選定に伴い、北毛2名、東毛1名、西毛1名の推薦を行った。

○ミニ災害支援講座の発信

全6回（7月、9月、12月、2月、3月、5月）を発信した。

【子ども家族支援委員会】

委員長：長峰雅史 副委員長：星野妙美

委 員：村井雅子・望月裕子・中井正江・碓井祐太郎

2025年度も昨年に引き続き「ソーシャルワーカーとしての虐待対応能力向上」を目標とし、委員が実際に対応した事例を毎月検討、そこから課題や情報を抽出し会員に向けた発信を検討する方針とした。また、新人研修への講師派遣、全体研修として、「里親支援」についてBANDアプリを用いてオンデマンド研修の実施、県内ソーシャルワーカーの「児童虐待に対する意識調査を実施し、第2回群馬県医療ソーシャルワーク学会発表に向けて準備を行った。

○委員会（全てオンライン開催：19時～20時）

第1回 2025年6月30日

第2回 2025年8月4日

事例提出 長峰 雅史（前橋赤十字病院）

第3回 2025年9月8日

事例提出 村井 雅子（高崎総合医療センター）

第4回 2025年10月7日

事例提出 星野 妙美（伊勢崎市民病院）

第5回 2025年11月18日

事例提出 碓井 祐太郎（前橋赤十字病院）

第6回 2025年12月8日

第7回 2026年1月20日

第8回 2026年2月24日

○講師派遣

研 修：新人研修「患者・家族へのソーシャルワークと虐待対応」

日 付：2025年11月1日 14時40分～16時55分（135分）

講 師：中井 正江 委員（前橋赤十字病院）

○全体研修会

内 容：「里親支援について」

講 師：児童養護施設 フランシスコの町 望月 裕子 先生

方 法：BAND アプリを活用したオンデマンド配信

期 間：2026年1月26日（月曜日）～2026年2月8日（日曜日）

参 加：登録者28名（うち全動画視聴修了者23名）

○調査

内 容：児童虐待に対する意識調査

対 象：群馬県医療ソーシャルワーカー協会会員

調 査：質問紙法（オンライン）

第2回 群馬県医療ソーシャルワーク学会にて報告予定

【組織率向上委員会】

委員長：中井正江 副委員長：高橋博明

委 員：狩野寛子・高橋紀貴・山浦美和子・関口奈津希・山口利佳・津田至・福田萌々花

2025年度は新規入会者の獲得と専門職としての会員同士の繋がりの強化を目的に活動した。新規入会者の獲得については、当協会に入会していない医療ソーシャルワーカーが所属している医療機関に対し勧誘活動をするとともに、勧誘資料を作成し44医療機関へ送付した。専門職としての会員同士の繋がりの強化については、メーリングリストを活用した新入会会員の紹介、「ミニほっと News」「MSW ほっと News」による医療福祉の最新の情報やトピックスを会員に向け発信した。「ミニほっと News」においては他の委員会や会員からも投稿があった。また、入会1年目～3年目の会員を対象にアンケート調査を実施した。アンケート結果は来年度以降の活動に活用していく。

○委員会開催回数

第1回 2025年6月28日（土） 第2回 2025年8月6日（水）

第3回 2025年10月1日（水） 第4回 2025年11月12日（水）

第5回 2026年1月7日(水) 第6回 2026年2月17日(水)
第7回 2026年3月18日(水)

○ミニほっと News・MSW ほっと News

ミニほっと News 投稿回数：27回

内訳) 組織率向上委員会委員：21回

その他委員会、会員：6回

MSW ほっと News 発行回数：4回

○アンケート調査

回答期間：2025年12月3日～12月19日

対象者：入会1年目～3年目までの会員

回答率：31/60 (51.6%)

アンケート結果は協会ホームページにて公開

【調査研究委員会】

委員長：高林亜希子 副委員長：加藤大輔

委員：狩野寛子・碓井祐太郎・園田直子・津田至

○委員会開催 ※全てオンライン (Zoom) にて開催

第1回 2025年6月27日(金) 19:10～20:10

第2回 2025年7月29日(火) 19:00～20:15

第3回 2025年8月26日(火) 19:00～20:00

第4回 2025年10月8日(水) 19:00～20:30

○研修会

日時：2025年10月29日(木) 19:00～20:00

方法：オンライン (Zoom)

テーマ：太田記念病院の男子3名による、日本医療社会事業学会(大分大会)での、ゆる～い、経・験・談

講師：SUBARU健康保険組合 太田記念病院 原一正氏

参加者：26名(当協会：23名、社会福祉士会：8名 ※重複あり)

○調査研究(人権擁護身元保証委員会・調査研究委員会合同、三団体連名調査研究)

テ ー マ：有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅における人権擁護に関する調査

調査対象：県内の有料老人ホーム 528 施設およびサービス付き高齢者向け住宅 160 施設
合計 688 施設

倫理審査：高崎健康福祉大学研究倫理審査委員会（2025 年 11 月 4 日承認）

調査期間：2025 年 11 月 10 日 ～ 2025 年 12 月 14 日

調査方法：メールおよび郵送

回 答 者：92 施設（回答率 13.3%）